

9月の園だより

2022年9月1日
社会福祉法人 楡の会
児童発達支援センター
きらめきの里

達成感！ママの上手くいったエピソード！！ ～その2～

8月号に続いて、いちごクラスのママ達の素敵なエピソードをお伝えします。

★Dくんママ：通いだして最初の頃は、帰る時は「まだ遊びたい！」と収まらなくて1時間以上汗だくで泣く事が続いた。「お迎えだね～車に乗るからオムツ替えようか～」をルーティンにして経験、回数を重ねたら、今は落ち着いて「お迎えの時間だね」と言う自分でカバンを取りに行ったり、一人だけだとトイレに入れるようになって、癇癪も収まり、身の回りの事も少しできるようになってきた。

★Eちゃんママ：嫌だけど、妥協して出来ることが増えたのは成長だな～と思う。“やりたい気持ち”がすごく強い時はストップが効かないけれど、『止められないけどEは分かっているんだ。本当は～しなきゃならないんだ、というのをEは分かってるんだな』と、私が分かったことが成長だな～と思った。



★Fちゃんママ：スーパーで欲しい物があっても「これはないけど、〇か家にあるよ」と言う折り合いを付けられるようになった。楡で教えてもらった色んな引き出しを使って、違う興味を持たせることをずっとやってきて「Fはこれやりたかったね」と肯定して「家に帰ったらもっといい事あるよ」を伝え続けてきた。楡で「帰りたくない！」と癇癪を起こした時も、「PTの先生にあって来よう！」とか「アクト(棟)回って帰ろう」と誘って、戻ってくると私の言葉を聞けることが増えた。泣いても車に乗ると泣き止む。Fが聞く耳を持って来てくれた。ちょっとだけ、私の手の上で転がせるようになったかなと思う。

★Gくんママ：Gは突然フーツとなって、理由が分からない事が多々あって、凶星を言うのがすごく難しい。難しいけど「～したかったね」「～だったね」と、先生と一緒に頑張っている。Gにはルーティンがあって、前はその変更は許されなかった。でも、私が1か月ルーティンに頑張って付き合い続けたら「ママはちょっとここに寄りたいたいんだ」「～に行きたいんだ」と言うので、「ママが僕に付き合ってくれるから、ボクもちょっとママに付き合おうかな」って応じてくれてスーパーの食品売り場に行けたり、寄れるようになった。満足を作ってやって、本人が満足できて「ママは～に行きたいよ」と事前にアナウンスしておく、聞いてくれる環境を作れるんだ！！と実感できた。



★Hくんママ：一番困っていたのは、私から離れるのが嫌で少しでも離れると泣いて、余り出掛ける事が出来なかった事。前回の勉強会の時には「お部屋で、車で遊べるよ」と伝え、今日は、前日から「明日はホールで遊べるよ」と伝えた。「嫌なことがあるけど、もっとこんないい事、楽しい事があるよ！」とアナウンスするのがいい方法なのだと分かって続けてきた。今日も「ママと離れるのは嫌だけど、ホールで遊べる！」って分かっているから、泣かずに離れられるようになった。良かった。

★ママ達、素晴らしい！！

今までの頑張りの成果に達成感を感じていますね！これからも楽しく『好い事作り』頑張って！

田野 準子

★★★★アナウンスが有効=想定内なら、自己説得、我慢が出来る様に成長したって事！★★★★

お母さんとスーパーに買い物に行く時は、お菓子売り場で流れているアンパンマンのビデオがお気に入りのJ君。その日も買い物中ビデオを見ていると、お母さんは「これが終わったら帰るよ」と事前にアナウンスしました。

嫌な時はカートから降りて座り込むこともあるJ君ですが、ビデオが終わると自分で“おしまい”をすることが出来、泣きながらもカートに乗って帰ることが出来たそうです。お母さんが『アナウンス』を続けてきた効果ですね。

西田 萌華

